

平成 27 年度

社会福祉法人 湖南省社会福祉協議会

事業報告

＝ 事業総括 ＝

平成 27 年の漢字に「安」が選ばれましたが、安心・不安・安全等の世相を表す一文字として話題になりました。安倍政権が最重要課題に位置付けた安全保障関連法案が成立し、賛否を含めた国民の大きな関心が集まりました。

また、東日本大震災の記憶も冷めやらぬうちに東日本地域のみならず先月 14 日には熊本地震が発生し、今もなお現地では不安な日々が続いています。その他にも豪雨や台風等の天災が度重なり、安心して生活するには日々の備えが不可欠となったと言えます。

湖南省においても、市民の防災意識は天災が起こるたびに高まりつつあります。その力を活用する取り組みを進め、災害ボランティアセンター設置マニュアルの整備等、災害時に市民と共同で復旧・復興に向けた活動ができる体制づくりを推進してまいりました。

平成 27 年 4 月には、生活困窮者に対する第 2 のセーフティネットとして生活困窮者自立支援法が施行され、当会は湖南省から家計相談支援事業を受託し、当初の予想を大きく上回る相談件数に驚嘆しつつも、改善に向けた取り組みを行ってまいりました。

また、3 年目となった財源検討部会を開催し、これまでから課題となっていた社会福祉協議会の活動の可視化について、ユニフォームの着用をご提案いただきました。今後福祉出前講座や地域活動に参加する際に着用し、市民の理解、延いては会費・募金の納入につながるよう努めてまいります。

A 社会福祉事業

1. 石部老人福祉センター管理事業 【 9,011,645 円 】

(1) 石部老人福祉センター管理事業（指定管理）

市（高齢福祉課）から指定管理（平成 25 年度～29 年度）を受託し、専従の管理人を配置して貸館業務、施設管理業務、また施設事業として高齢者を対象に風呂の利用、サロンの開催、健康推進事業などを行った。

= 貸館状況 =

年間延べ 728 件	< 昨年 延べ 722 件 >
平均	約 61 件 / 月 利用

= “和の湯” 利用状況（利用料 1 回 100 円） =

年間延べ 1,684 人	< 昨年 延べ 1,812 人 >
平均	約 140 人 / 月 利用

= 軽運動場管理事業 =

年間延べ 717 件	< 昨年 延べ 1,060 件 >
平均	約 59 件 / 月 利用

○ふれあいサロン「まめ講」の開催

石部老人福祉センターを拠点に介護予防、仲間づくりのためのサロンをボランティアの協力をいただきながら開催した。開催日の昼食は、同センター内で調理したものを提供。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日 毎月第 2 金曜日

年間 12 回開催
延べ 425 人参加 < 昨年延べ 423 人 > 平均約 35. 人 / 回参加

○老人福祉センターまつりの開催

老人福祉センター並びに軽運動場の利用促進と利用者同士の交流を図るため、施設利用者（グループ）によるステージ発表や作品展示、また体験コーナー、模擬店を設置した。

実施場所 石部老人福祉センター、石部軽運動場

開催日 平成 27 年 5 月 31 日（土）

来場者 約 600 人

協力団体 46 団体

○老人福祉センター「将棋大会」の開催

将棋を通して、思考力・集中力・決断力など技能の向上に加え、人との交流を深めながら愛好者の増加をめざし開催した。

実施場所 石部老人福祉センター

開催日 平成 27 年 11 月 12 日（木）

対局参加者 16 人

○シニア応援講座の開催

高齢者が自ら学び、生きがい探しや仲間づくりなど、世代交流をしながら地域づくりに楽しく参加できる「シニア応援講座」を開催した。

① スマートフォン体験教室（11/18～ 3 回シリーズ） 参加者 11 名

② そば打ち教室（12/4） 参加者 9 名

③ 生芋こんにゃく作り教室（12/22） 参加者 18 名

④ ブリザーブドフラワー（12/8） 午前の部 参加者 20 名
午後の部 参加者 17 名

○老人福祉センター「みんなの日」

高齢者が気軽に集える場として、また老人福祉センター周知のために、「みんなの日」を毎週 1 回開催し、軽食や喫茶の提供を行った。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日 毎週水曜日

毎月 4 回開催	延べ 1,194 人参加
平均 25 人/回	参加

○高齢者いきいき教室

60 歳以上の方を対象に健康維持、介護予防、仲間づくりのための教室を開催した。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日	毎週月曜日午前	登録者	11 名	<昨年 14 名>
年間 45 回開催	延べ 368 人参加	<昨年延べ 407 人>		
平均	8 人/日、	約 31 人/月	参加	

2. 生活福祉事業 【 1,006,190 円 】

(1) 生活福祉貸付事業

《生活福祉資金貸付事業》

生活に困窮した方（世帯）からの経済的な悩みの相談を受け、必要に応じ貸

付制度の利用手続きを進めたほか、善意銀行事業による生活食料品支援や、生活保護の対象と考えられる世帯を行政へ繋ぐなど関係機関との連携を行った。

○生活保護受給予定世帯を対象としての貸付（市）

種 類	件 数	貸 付
生活保護予定世帯繋ぎ小口資金		12 <昨年 11>

○生活緊急一時としての貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
緊急小口資金		26 <昨年 53>	4 <昨年 15>
臨時特例つなぎ資金		0 <昨年 2>	0 <昨年 0>

○失業による生活貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
総合支援資金		8 <昨年 15>	0 <昨年 6>

○福祉による目的に応じた貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
福祉資金		14 <昨年 18>	1 <昨年 2>
教育支援		5 <昨年 16>	1 <昨年 8>

《行路者旅費貸付事業》

行路者に対する旅費として、切符により貸し付けた。

10件（内訳 柘植方面 2件 草津方面 8件） <昨年 10件>

(2) 地域福祉権利擁護事業

判断の困難な方を対象に、日常の金銭管理や大切な物の保管など生活支援を行った。

・契約件数：63件 <昨年 60件>

内訳：認知症高齢者等 10件 知的障がい者等 31件
精神障がい者等 19件 その他 3件

・年度内新規契約：10件（認知 3、知的 3、精神 2、その他 2）

解約：7件（認知 4、知的 1、精神 0、その他 2）

問合わせ、相談援助件数	認知	知的	精神	その他	計
問合わせ	9	6	5	12	32
問合わせ初回相談	6	3	4	5	18
相談援助	911	1091	1525	362	3889
計	926	1100	1534	379	3939
<昨年度計>	(673)	(997)	(1158)	(170)	(2998)

B 公益事業

1. 法人運営事業 【 71,771,695 円 】

(1) 本部事業

《法人運営事務》

○理事会議の開催

開催日	案	件
27年5月26日	議案第1号	平成26年度事業報告、貸借対照表、財産目録、一般会計収支計算書について
	議案第2号	災害援護積立金、居宅介護事業安定化積立金 積み立てについて
	議案第3号	評議員の選任について
27年6月1日	議案第1号	会長、副会長の選任について
	議案第2号	顧問の委嘱について
27年12月18日	議案第1号	特定個人情報取扱規程制定について
	議案第2号	職員就業規程一部改正について
28年3月23日	議案第1号	諸規程の改正について
	議案第2号	基金積立金（福祉基金、善意銀行基金積立金、居宅介護事業安定化積立金、生活困窮者支援基金）の取り崩しについて
	議案第3号	平成28年度事業計画、予算（一般会計収支計算書）について

○評議員会の開催

開催日	案 件
27年5月27日	議案第1号 平成26年度事業報告、貸借対照表、財産目録、一般会計収支計算書について 議案第2号 理事、監事の選任について
28年3月25日	議案第1号 平成28年度事業計画、予算（一般会計収支計算書）について

○監査の開催

開催日	おもな内容
27年5月15日	平成26年度事業報告、決算、会務運営の監査について

○その他

27年11月18日	福祉サービス第三者委員会 (苦情受付体制の確認と各福祉サービスでの苦情受付状況の報告)
28年2月24日	財源検討部会 (事業説明、財源支出について)

○会費の納入依頼と徴収

7月 世帯会費依頼と徴収 (5,894,973 円)

8月 法人・事業所会費依頼と徴収 (712,000 円)

- ・高年会費 (30,000 円以上) 納入事業所の広告を本会広報紙に掲載
対象 4社 掲載 4社

2. 地域福祉事業 【 12,096,118 円 】

(1) 地域福祉活動事業

《地域福祉活動推進事業》

○地域たまり場づくり事業

管理する施設での施設事業と目的に沿ったたまり場事業の実施

石部老人福祉センター	高齢者を対象とした「みんなの日」の開催
ふれあいの館	毎週月曜日1時30分より「ふれあいサロン」を開催 (手芸・囲碁などを通して交流)
社会福祉センター	1階ロビーでのコーナーとテレビの設置

○地域福祉支援事業

学区ごとに担当職員を配置し、まちづくり協議会活動への協力や地域での支

援活動を行った。

○地域見守り体制の構築

生活支援サポーター（ボランティア 21 名）による地域での見守り活動をモデル事業として実施し、主に一人暮らし高齢者（利用者 14 名）を対象に見守り活動を行った。

《小地域福祉活動事業推進交付金事業》

まちづくり協議会が実施する小地域福祉活動を支援するため、交付金制度を設け、6つのまちづくり協議会が交付金を活用した事業を実施された。

- ・交付金を活用したまちづくり協議会

三雲学区、石部南学区、岩根、菩提寺、下田学区、水戸学区の各まちづくり協議会

- ・交付金審査委員会の開催

開催日 4月24日

- ・交付金フォーラムの開催

開催日 3月7日

内容 ・記念講演 — 「暮らしの中の支え合いについて」

講師 龍谷大学教授

参加者 約 50 名

(2) ボランティアセンター活動事業

《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

情報提供

- ・平成 26 年度湖南市ボランティアセンター活動実績報告冊子 800 部
- ・社協広報「福祉の輪」のボランティアセンターだより
- ・市広報にてボランティア講座、シルバー教室などの参加者募集及びボランティアまつりお知らせなどを掲載

《ボランティア活動に対する相談、助言と調整》

ボランティア依頼と調整

市内福祉施設、高齢者サロン、幼稚園、保育園、小中高等学校、子育てサロン、学童保育、まちづくりセンター、国際協会、自治会 など

《ボランティア講座の開催などによるボランティアの育成》

○生活支援サポーター講座（全 6 回） 参加者 26 名

○災害ボランティア運営サポーター養成講座（全 3 回） 参加者 95 名

講座終了後 毎月第 3 金曜日 13 時 30 分より「災害ボランティアセンター事務局準備会」開催

- 昔遊び伝承者養成講座（全3回） 参加者 63名
- 障がい児支援ボランティア・スタッフ養成講座（全3回） 参加者 22名
～終了後、ホリデースクール事業参加～
- 中高生ボランティア体験（全3回） 参加者 20名
【手話体験と一人暮らし高齢者のためのケーキと給食づくりと配食を体験】
- 親子自然であそぼ教室（全2回） 11組参加
- ボランティアの親子教室（全2回） 13組参加
- ボランティアの親子サロン（全10回） 23組参加
- レイカディア大学ボランティア体験説明会
- 市内小中高校の体験学習

三雲東小学校	5年生 39名	アイマスク・車いす
三雲小学校	3年生 70名	アイマスク体験、

《ボランティア活動の組織化や交流の促進》

- ボランティア祭り 平成27年11月3日（火）
広くボランティア活動の理解を深め、ボランティアとの交流、ボランティア同士の交流を図るため年1回開催。2,000名を超える来場者があった。

《当日参加ボランティア》	72グループ	431名（前年度495名）
《一般体験コーナー参加人数》	165名	《景品引き換え》 432名

○国際交流活動

外国にルーツを持つ小中学生の学習お手伝い「Passo a Passo」を開催。
毎週金曜日 18:30～20:00 場所 社会福祉センター
前期(4月～9月) 子ども 11名 ボランティア登録 11名
後期(10月～3月) 子ども 10人 ボランティア登録 8名

《ボランティア活動基盤整備》

- ボランティア保険の加入
 - ・ボランティア活動保険加入 895名（前年度 885名）
 - ・ふれあいサロン保険加入 32名（前年度 46名）
- ボランティアグループへの活動助成
 - ・76団体に助成（前年度 72団体）

《その他》

- 高齢者見守り活動事業
生活支援サポーターによる見守り活動事業の実施…年間 240回
- 備品貸し出し…車椅子、かるた、カラム、プロジェクターなど
- ゴーヤカーテンプロジェクト

ボランティアと市内 28 か所（保育園 9 か所、幼稚園 5 か所、小学校 3 か所、高齢者施設 4 か所、公共施設 7 か所）にゴーヤのカーテンの普及を推進するため、種まき、苗作り、棚にする竹の切り出し、棚作り、花壇作り、追肥などをした。（27 年度は甲賀市の甲賀学園にも設置した。）

○配食サービス事業

ひとり暮らしの高齢者に対し、ボランティアの協力のもとに手作りの昼食を配達した。

年間 23 回開催	延べ 1,495 個配食	<昨年計 1,374 個>
約 65 個／回	配食	

なお、給食サービスで安否確認できなかった一人暮らし高齢者に対して担当民生委員へ連絡して安否確認を依頼

○リサイクルコーナー・手作り品販売コーナーの設置

- ・古着を 1 着 100 円で、手芸ボランティアの作品を希望される方に購入いただいた。

○行事などへのボランティア参加協力

- ・障がい児ホリデースクール事業 ボランティア数 延 215 名（前年度 366 名）

（3）広報活動事業

《広報発行事業》

○広報の発行

- ・平成 27 年 6 月発行（通刊 26 号 新聞折込）
- ・平成 27 年 10 月発行（通刊 27 号 新聞折込）
- ・平成 28 年 2 月発行（通刊 28 号 新聞折込）
- ・ホームページの更新

○広報紙の配布

市内まちづくりセンターや県内社協へ広報を配布した。

（4）助成事業

《地区活動助成事業》

社協会費の還元による各区への福祉活動助成

世帯会費を各区の前年度（平成 26 年度；6,143,392 円）の会費額の 20%を地域福祉活動のために還元した。（地域福祉活動奨励金）

還元額合計 1,228,678 円 <昨年 1,196,200 円>

《福祉団体活動助成事業》

市内の福祉関係団体に対し活動費を助成した。（12 団体）

《小地域福祉推進事業》

○石部地域での小地域福祉活動の推進

- ・福祉協力員の委嘱
- ・福祉協力員研修会の実施 4月17日(金)
- ・小地域福祉活動事業補助
 - ふれあいサロンの実施 8地区 延べ101回 <昨年92回>
 - 見守り・安否確認活動 3地区
- ・石部南学区と木戸学区(大津市)交流会 2月22日(月)
 - 南学区(3地区)7名 木戸学区(6ヶ所)30名が参加

(5) 敬老会開催事業

《敬老会開催助成事業》

各区、高齢者施設(5か所)で開催される敬老会に対して市内の70歳以上の人口割で開催費用の助成を行った。

- ・助成総額 2,019,000円

《敬老祝品贈呈事業》

88歳、90歳、99歳、100歳以上の方々に祝品を贈呈した。

- ・贈呈対象人数 267名(昨年度253名)

3. 受託事業 【 12,353,587円 】

(1) 障がい児ホリデースクール事業

学校の長期休暇期間中に障がい児を対象に地域やボランティアの方々とふれあいながら健やかな一日を過ごせるよう、ホリデースクールを開催した。

① 夏季休暇中の20日間(7月21日から8月26日)

参加児童生徒	延べ	278名	<昨年295名>
スタッフ	延べ	245名	<昨年235名>
ボランティア	延べ	170名	<昨年218名>
サポートボランティア	延べ	33名	<昨年78名>

※ 子どもたちとふれあう以外に調理や外出時の会場設営などで事業をサポートするボランティア

② 冬期休暇中の2日間

12月23・24日の2日間

「クリスマス会」 社会福祉センター

参加児童生徒	延べ	27名	<昨年31名>
スタッフ	延べ	26名	<昨年20名>
ボランティア	延べ	28名	<昨年41名>
サポートボランティア	延べ	0名	<昨年24名>

② 春期休暇中の2日間

3月29・30日の2日間

「バス旅行」 竜王アグリパーク

参加児童生徒	延べ	22名	<昨年19名>
スタッフ	延べ	23名	<昨年20名>
ボランティア	延べ	17名	<昨年5名>

(2) ファミリーサポートセンター事業

子育て支援のため、子ども（未就学児・小学生が対象）を一時的に保育を希望される保護者と子どもの世話ができる方がそれぞれ会員となり、ニーズに合わせて保育機会の提供を行った。

(湖南省中央一丁目38 平和堂甲西中央店内)

開設日時 毎週月曜日～金曜日 10:00～17:30

《センター運営事業》

- ・会員交流会の開催 6月25日「折り紙で七夕飾りと色紙飾り」、12月5日「クリスマス会」～おいしいカップケーキにクリスマスデコレーション&お楽しみ～

2月18日「ヨガしましょ♪」延べ51名参加

- ・休日（土曜日）特別開所 5月23日、11月14日、3月5日
- ・会員、一般向け子育て研修会の開催 9月10日、9月24日
10月8日、10月22日、11月5日 延べ45名参加
- ・フォローアップ講座の開催
11月12日「絵本で子育てを楽しく」
- ・会員通信の発行（年2回）
- ・4か月検診へ出向き説明及び入会手続き
- ・平成27年度会員登録者 提供会員 79名
依頼会員 181名
両方（提供依頼兼務）会員 25名

《活動実績と内訳状況の内訳》

項目	回数	<昨年>
保育園・幼稚園の預かり、送り	2	<3>
保育所・幼稚園の迎え、預かり	48	<7>
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	1	
保育所・幼稚園の帰宅後の迎え及び預かり	2	
学童の送り	9	<10>
学童の迎え	22	
放課後児童クラブ（学童保育）の迎え、預かり	29	<10>

学童の放課後の預かり	4	
子どもの習い事等の場合の援助	76	<0>
保育所・学校等休み時の援助		<1>
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	93	<93>
保護者等の求職活動中の援助	2	<0>
保護者等の外出や他のこどもの学校行事の場合の援助	22	<15>
保護者等の病気、その他急用の場合の援助		<5>
多胎児の保育援助	7	<15>
その他	11	<16>
合 計	328	<175>

サポートボランティア 延べ 19名 <昨年9名>

(3) 社会を明るくする運動事業

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい社会を築こうとする全国的な運動を市内において展開した。

- ①推進大会の実施 期 日 平成27年7月1日(金)
 内 容 更生保護活動に関する講演、内閣総理大臣
 メッセージ伝達式、のぼり旗掲出活動
 (50本)
 参加者 約100名
- ②街頭啓発活動 7月1日 平和堂菩提寺店前
 7月3日 平和堂石部店前
 7月6日 平和堂甲西中央店前
 7月9日 平和堂甲西店前
 参加者 市内中学生、運動関係者

(4) 生きがい活動支援通所事業(生きがい対応型デイサービス事業)

=和(なごみ)の家=

65歳以上の家に閉じこもりがちな高齢者に趣味等の生きがい活動の機会と場を提供することを目的に実施した。

実施場所 石部軽運動場(石部老人福祉センター併設)

開設日 毎週火・水曜日

登録者 21名<昨年13名>
年間 93回開催 延べ 644人参加 <昨年延べ 601人>
平均 約7人/回、 約54人/月 参加

利用者の送迎 644 人／年

(5) 高齢者生きがいサロン事業

《おたっしやる一む》

60 歳以上の高齢者の心身の健康を維持し、閉じこもりや認知症を予防し、地域で安心して生活できることを目的に実施した。

実施場所 松籟会館 (湖南省市石部西二丁目 12-6)

開設日 毎週月・木曜日

登録者 10 名 < 昨年 11 名 >
年間 95 回開催 延べ 605 人参加 < 昨年延べ 739 人 >
平均 約 6 人／回、約 50 人／月 参加
利用者の送迎 605 人／年

《みくもいきいきサロン》

65 歳以上の方を対象に健康維持、自立支援の助長、介護予防仲間づくりを目的に実施した。

実施場所 三雲地域人権福祉交流センター
(三雲ふれあいセンター)

開設日 毎月第 1、第 3 金曜日

登録者 48 名
年間 22 回開催 延べ 302 人参加 < 昨年延べ 272 人 >
平均 約 14 人／回 参加

(6) 生活困窮者自立支援事業 家計相談支援事業

市住民相談室(自立相談窓口)等の各専門機関と連携し、生活困窮世帯を対象に家計管理を中心とした家計相談支援を行った。生活福祉資金貸付とも必要に応じて連携をとった。

利用世帯数	11 世帯／年
相談件数	22 件／年
支援件数	50 件／年

(7) 一次予防通所型栄養改善事業 ヘルシーくらぶ事業

高齢期を生き生きと過ごせるよう栄養にかかる知識の指導および調理・試食を通じ食生活を見直すきっかけとなるようはたらきかけた。

実施回数	6 回／年
参加者数	延べ 47 人(平均 7.8 人／回)

4. 居宅介護事業 【 94,391,495 円 】

利用者との契約に基づき、高齢者および障がい者の居宅介護サービスを包括的に進めた。

(1) 居宅介護支援事業

介護保険制度における高齢者福祉サービスを中心に、その利用に関する相談や利用援助、また関連する高齢者事業への調整や関係機関との連携を行った。

居宅介護支援業務	介護予防マネジメント業務
利用者 延べ 498 人／年	利用者 延べ 105 人／年
約 42 人／月 < 昨年約 42 件／月 >	約 9 人／月 < 昨年約 8 件／月 >

(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

《訪問介護事業》

介護保険事業として、高齢者の方々を中心に、身体介護や生活援助の訪問介護サービスを提供した。

介護保険訪問	介護予防訪問
利用者 延べ 1,027 人／年 < 昨年 881 人／年 >	利用者 延べ 148 人／年 < 昨年約 132 人／年 >
約 86 人／月 < 昨年 73 件／月 >	約 12 人／月 < 昨年 11 人／月 >
訪問回数 延べ 14,201 回 < 昨年 14,345 回／年 >	訪問回数 延べ 672 回 < 昨年 903 回／年 >
約 1,183 回／月 < 昨年 1,195 回／月 >	約 56 回／月 < 昨年 75 回／月 >

(3) 障がい者総合支援事業

障がい者総合支援制度に基づき、本会では居宅介護事業（身体障がい者ホームヘルプサービス・同行援護サービス）を実施し、利用対象者にサービスを提供した。

ホームヘルプサービス	同行援護サービス
利用者 延べ 216 人／年 < 昨年 174 人／年 >	利用者 延べ 128 人／年 < 昨年約 142 人／年 >
約 18 人／月 < 昨年 14 人／月 >	約 11 人／月 < 昨年 11 人／月 >
訪問回数 延べ 1,418 回 < 昨年 961 回／年 >	訪問回数 延べ 410 回 < 昨年 365 回／年 >
約 118 回／月 < 昨年 80 回／月 >	約 34 回／月 < 昨年 30 回／月 >

《湖南省障がい者等移動支援事業》

屋外での移動が困難な視覚障がい者（グループ）に対して、外出のための支援サービスを提供した。

介護なし	介護あり
2対1 利用者 延べ44人／年 約4人／月 訪問回数 延べ32回 約3回／月	2対1 利用者 延べ14人／年 約1人／月 訪問回数 延べ15回 約1回／月
3対1 利用者 延べ25人／年 約2人／月 訪問回数 延べ11回 約1回／月	3対1 利用者 延べ6人／年 約0.5人／月 訪問回数 延べ6回 約0.5回／月

(4) 特定相談支援事業

障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、障がい者福祉サービス等の利用計画の作成等を行った。

利用者 延べ22人／年 約2人／月

(5) 湖南省ホームヘルプサービス事業

湖南省より委託を受け、要介護認定で自立と判定された方や、介護保険事業の対象とされない方を対象に生活援助サービスを提供した。

延べ 36名、158回／年 < 昨年計 59名、217回／年 >
約3名／月、13回／月 < 昨年計 4名、18回／年 >

(6) 子育てホームヘルプサービス事業

《多胎児家庭ホームヘルプサービス事業》

多胎児を持つ世帯に対し、家事や育児などの生活支援ホームヘルプサービスを市受託事業として実施した。

延べ 29名、50回／年 < 昨年計 21名、35回／年 >
約2名／月、4回／月 < 昨年計 2名、3回／月 >

《子育て支援ヘルプ事業》

生後3歳までの乳幼児のいる世帯に対し、家事や通院、育児など様々な活動の支援を市受託事業として実施した。

延べ 27名、162回／年 < 昨年計 24名、137回／年 >

約 2 名／月、14 回／月	< 昨年計 2 名、11 回／月 >
----------------	--------------------

(7) 外出支援サービス事業

独居高齢者等への通院や買い物の移送サービスを市受託事業として実施した。

延べ 15 名、18 回／年	< 昨年計 19 名、20 回 >
約 1 名／月、2 回／月	< 昨年計 2 名、2 回 >

(8) 特定旅客自動車運送（福祉有償）事業

特定旅客自動車運送事業者（道路運送法 43 条及び 78 条を取得）として介護保険事業及び障がい者総合支援事業の契約者を対象に、通院や買い物など契約サービスと一体的に移送サービスを実施した。

延べ 259 名、466 回／年	< 昨年計 248 名、968 回／年 >
約 21 名／月、39 回／月	< 昨年計 20 名／月、80 回／月 >

(9) 福祉出前講座

地域住民や自治会・団体等を対象に、社会福祉協議会の事業、ボランティア、介護などの各担当職員を講師として派遣し、市民の社会福祉協議会や地域福祉への啓発と推進のため、福祉出前講座を行った。

開催回数 4 回	参加人数 75 人
依頼先 福祉団体 2 回、地域サロン 1 回、老人クラブ 1 回	
依頼内容	
①災害ボランティアと防災用品の実演	
②認知症の理解	
③ヘルパーによる寸劇	
④介護予防、健康づくり体操、脳リハビリ体操	

5. 施設管理事業 【 6,156,610 円 】

(1) 社会福祉センター管理事業（指定管理）

市（社会福祉課）から指定管理（平成 25 年度～29 年度）を受託し、貸館業務、施設管理業務、また施設事業として関連情報の提供や高齢者の健康推進事業、相談活動を行った。

=貸館状況=

年間延べ 988 件	< 昨年 992 件 >
平均 約 82 件／月	利用

(2) ふれあいの館管理事業（指定管理）

市（社会福祉課）から指定管理（平成 25 年度～29 年度）を受託し、専従の管理人を配置して施設の貸館を含めた管理業務とともに、施設の事業として位置づけら

れたボランティア活動として次のような事業を行った。

《施設管理事業》

年間延べ 632 件 <昨年 延べ 658 件>
約 53 件/月 利用

《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

- 情報提供 市広報に講座開催に伴う参加者募集記事の掲載
- インターネットによる情報提供

《ふれあいの館 10 周年記念事業》

「みんなで祝い 10 周年」式典・交流会・グループ作品展示・記念誌作成
参加 27 グループ 参加者 67 名

《ボランティア教室や講座の開催、ボランティアの育成》

- シルバーパソコン教室 全 2 回 参加者 延べ 23 回
- 親子でチーパッパ！「すずめの学校」

就園 1 年前の幼児親子とボランティアとの交流を目的として開催
毎月第 2 木曜日 10:00~12:00

全 12 回 参加者 延 322 名
約 27 名/回 参加

お母さんのための勉強会の開催 参加者 8 名

- こどもクラブ

就園児・小学生親子とボランティアとの交流を目的として開催
不定期（春・夏・冬休み・土曜日など）

全 12 回 参加者 延 329 名
約 27 名/回 参加

《たまり場事業》

毎週月曜日 1 時 30 分より「ふれあいサロン」を開催
（手芸・囲碁などを通して交流）

《その他》

- 備品貸し出し 囲碁ゲームセット・本・遊具など

6. 善意銀行事業 【 325,395 円 】

《善意銀行事業》

市内外から善意による金品の寄付を受け、寄付金の一部については地区活動助成事業やボランティアセンター活動事業に役立てるとともに、福祉車両は、本会の福祉活動に、車椅子については福祉機器貸出事業に活用した。

また米や物品などは生活困窮者や施設への提供あるいは本会やボランティア活動

に提供するなど、多方面へ役立てた。

寄付総額 3,204,888 円 < 昨年 3,330,506 円 >

寄付物品 軽自動車、軽トラック、車いす、米等

《催し物器具の貸出》

地域での行事やイベントに必要な催し物器具を次のとおり貸し出した。

また、利用の多い器具を新調した。

・貸出件数 合計 79 件

	かき氷機	綿菓子器	ポップコーン機	たこやき器	鉄板
27 年度	29 件	28 件	14 件	0 件	8 件
<昨年度>	(37 件)	(29 件)	(24 件)	(6 件)	(9 件)

《福祉機器貸出事業》

車椅子の貸し出し 貸出回数 75 回 (28 年 3 月末現在)

《福祉自動販売機設置事業》

市内まちづくりセンター9 施設、社会福祉センター、老人福祉センターおよび甲西図書館に自動販売機を設置し、福祉事業への財源確保に努めた。